

# パイプカットについての説明同意書

患者

様に以下の内容について説明致しました。

## 1. 病名 不妊手術希望

## 2. 検査・治療の必要性と目標

精液中に永久に精子が含まない状態にするには、一般には両側精管を結紮する手術療法が選択されます。目的は避妊のため精液中の精子を0にすることです。

## 3. 検査・治療の具体的方法、施行日と治療に必要な期間

局所麻酔下に両側精管結紮切除術を行います。両側の陰嚢の上部に1cm程度の切開を加えて精索を同定し、この中の精管を1cmほど切り取って両端を糸で結紮します。精液中に精子は含まれなくなりますが、精液が出なくなったり、射精感が損なわれることはありません。手術直後は精嚢および精管内に精子が残存しているため、ある程度の回数の射精後でないとは完全な避妊は得られません。手術時間は1時間程度です。

## 4. 検査・治療にともなう合併症とその危険性や後遺症

手術の合併症として、発熱、感染、出血、鼠径部および陰嚢上部の突っ張り等があります。傷跡や痛みはある程度さげられません。避妊の失敗が非常に少ない避妊法である反面、精子が運搬されなくなった精巣は造精能が低下するため、精管を再度吻合させても妊孕性が元通りになることは少ないといわれています。また非常に稀な事ですが、一旦無精子の状態になっても結紮・切除した精管の間が自然に再開通してしまい、精液中に精子が存在し妊娠に至る場合もあります。麻酔の合併症として、薬剤に対するアレルギーなどがあります。

## 5. 術後の注意事項

- ① 手術翌日は可能な限り、外来受診していただき創の観察をします。
- ② 傷のドレッシングは、術後3日目以降は、なしのままで大丈夫です。
- ③ 創からの出血が止まらないときや膿が出てきたときや痛みが強い時などは、早めに連絡して外来受診してください。
- ④ 手術後数回の性交の際は、精管に残った精子が精液中に出ることがありますので、避妊をしてください。
- ⑤ 当院での術後8週間後の精液検査で、精子がないことを確認しています。

## 6. 当院での検査・治療の実績

当院での手術経験はありませんが、院長は病院で多くの患者さんで手術経験があります。

## 7. 医療の不確実性について

多くの診療行為は身体に対する影響・侵襲（ダメージ）を伴います。ですから検査や治療はそれによって得られる利益が身体に与える不利益をしのぐと判断した場合にのみ行われます。しかし、医療は万能ではなく、常に不確実な要素を含んでいますので、誠意を持って注意深く診療行為にあたったとしても、貴方に重大な合併症や事故が起こる可能性があります。診療行為の過程で、治療している疾患と関係のない偶発症が発生することもあります。もしそのような状況に遭遇すれば、最善を尽くして治療に当たります。

西暦 年 月 日

つじ泌尿器科クリニック

担当医(署名)

立会人(署名) 看護師

## つじ泌尿器科クリニック院長殿

上記の検査・治療について説明書に基づく説明を受け、疑問点についても質問し、内容に納得しましたので、その実施に同意します。なお、検査・治療中あるいは後に緊急の処置を行う必要が生じた場合、これを受けることについても同意します。

西暦 年 月 日

患者本人署名

配偶者署名